

令和7年度土地改良補償士試験問題の出題範囲と形式及び採点基準

問題の出題範囲と形式	配分点数	合格点	備考
記述試験			(試験時間)
問題1 土地改良事業における用地調査等業務（用地測量、用地調査、用地補償） について、次の項目について全体で1,600字以内で述べよ。 (1) 土地改良補償士の主たる業務内容 (2) あなたが用地調査等業務の従事者として経験した、業務の概要及びその業務における立場と役割 (3) 上記(2)で述べた業務上の検討課題と解決策、又は補償の検討項目と内容等	40点	20点以上	10:30～12:00 (90分)
休憩（答案用紙回収時間時間を含む。）			(60分)
問題2 土地改良事業に伴う用地等の取得および損失補償要綱 について、次の事項の中から <u>一つを選び</u> 800字内で述べよ。 (1) 損失補償要綱の内容について (2) 農業補償について	30点	15点以上	13:00～15:00 (120分)
問題3 土地改良事業の施行に起因する事業損失の概要 について、次の項目の中から <u>一つを選び</u> 800字内で述べよ。 (1) 因果関係の判定について (2) 受忍限度の判断について	30点	15点以上	
合計	100点	60点以上	
【注】			
(1) 合格点は、それぞれの問題の配分点数の5割以上で、かつ合計が60点以上とする。			
(2) 上記による採点結果を踏まえた合否の判定は、「土地改良補償士運営委員会」において行う。			